

(様式①)

運営推進会議開催状況報告書

事業所名 (グループホーム 椿の里) (令和2年4月～令和2年9月)

開催日時等		令和2年4月11日(土)	14時00分～13時00分	椿の里和室
参加者		主な議題		
利用者	1名	新型コロナウイルス感染予防の為、外部委員には、書面にて照会をおこなう。 ① R2.2月～5月の行事实施報告及び予定報告 2月3日 節分豆まき 15日 梅見学市内ドライブ その後は感染拡大を受けて、慰問や戸外活動は休止とした。 ② 活動状況 感染予防として、職員の健康チェック、共有部分の消毒、面会制限など実施している。 苑庭での桜見会など、施設内でできる活動は継続している。 ③ 令和2年度の運営に対する要望 ・利用者、ご家族の気持ちに沿った介護が実施できていると思う。 ・利用者の重度化により職員の負担が大きくなっている 職員の健康管理、ストレス解消が大切と思う。 ・職員が働きやすく生きがいのある職場づくりを期待する		
利用者家族	1名			
事業者	4名			
地域包括	1名			
地域住民代表者等				
(民生委員)	1名			
(福祉委員等)	1名			
その他	名			
主な要望・助言等		対応状況		
・新型コロナウイルスの感染対策として、テレビ電話の導入や職員の負担軽減の為に室内見守りカメラの利用を検討してはどうか。 ・感染予防の為に外出は自粛しなければ行けないが、施設内散歩などで季節の変化を楽しんでほしい。		・今後の検討課題とする。 ・慰問やショッピングなどの戸外活動は難しいので、室内でのレクリエーションや散歩などを工夫する。		
開催日時等		令和2年7月14日(火)	16時00分～17時00分	
参加者		主な議題		
利用者	1名	新型コロナウイルス感染予防の為、外部委員には、書面にて照会をおこなう。 ① R2.4月～7月の行事实施報告及び予定報告 6月23日 あじさい見学 室内で、手芸などの創作活動の実施。 デイバリーで食事の変化を楽しむ。 梅干し作りや料理の下ごしらえなどをおこなう めだかの飼育を始める ② 利用者の介護状況報告 TMさま 退所(今後、医療的ケアが必要になると予想され、特養入所となる) YoKさま 7月1日 入所(要介護1) 事故報告: YaKさま 夜間居室で転倒する。 肋骨骨折。自然治癒と診断される。ご本人は転倒した自覚及び骨折の病識なく、普段と変わりなく生活している。		
利用者家族	1名			
事業者	3名			
地域包括	1名			
地域住民代表者等				
(民生委員)	1名			
(福祉委員等)	1名			
その他	名			

		③ 感染対策報告	
主な要望・助言等		対応状況	
<p>コロナ禍の生活様式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様のストレスケアの為に「新しい生活様式」に沿った外出は必要 ・オンラインでの面会ができるようになれば、家族にとって来訪の負担が軽減につながるのではないか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・3密を避けてのドライブや創作活動や料理など個別ケアを充実する。 	
開催日時等 令和2年9月8日(火)		16時00分～17時00分	
参加者		主な議題	
利用者	1名	新型コロナウイルス感染予防の為、外部委員は照会とする。	
利用者家族	1名		
事業者	3名	① R2.7月～9月の行事実施報告及び予定報告	
地域包括	1名	新型コロナウイルス感染予防の為、夏祭りは中止。酷暑の為ドライブもできなかった。	
地域住民代表者等		利用者の誕生祝いのケーキの飾り付け、盆団子づくりなどおこなった。	
(民生委員)	1名		
(福祉委員等)	1名		
その他	名	② 介護状況の報告 YaSさま 食事量が減りベッドで過ごす時間が増えている。主治医より老衰の状態と説明を受ける。グループホームでの看取りを希望されている。	
		③ 感染症対策報告	
		④ コロナ禍における終末期の面会について意見交換	
		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をとりながらご本人、ご家族が悔いのないよう対応したほうがよい。 ・ご家族、職員も無症状の可能性はある。できる限りの感染対策をするしかない。 ・触れ合うことはできないが、オンラインは、有効と思う ・コロナ禍であっても、感染対策をおこない家族と過ごせる時間を大切にしてほしい。 ・プライバシー保護との兼ね合いがあるが、カメラ付き通信機器の導入でご家族との情報共有がはかれるのではないか。 	
主な要望・助言等		対応状況	